

北里大学病院・北里大学東病院(旧)を受診された患者さまへ

当院では下記の臨床研究を行っています。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお申し出ください。

研究課題名 (受付番号/承認番号)	Laser in situ keratomileusis 後白内障手術症例における LENTIS Comfort 挿入眼の視機能についての単施設後方視的研究 (B22-024)
当院の研究責任者 (所属・職位)	医学部眼科学 准教授 飯田 嘉彦
他の研究機関および 各施設の研究責任者	他の研究機関はありません。
本研究の概要・背景・目的	<p>近年、眼内レンズは多焦点レンズや焦点深度拡張型レンズといった、焦点距離の幅(明視域)が従来の単焦点眼内レンズよりも広い眼内レンズが登場し、眼鏡を装用する頻度を減らすことができることが期待されています。</p> <p>明視域が広い眼内レンズを挿入した症例の視機能評価はこれまで多くの報告があり、多焦点眼内レンズの種類によっては視機能の評価の一つの目安であるコントラスト感度が低下することがあるものも報告されております。また屈折異常を矯正する角膜屈折矯正手術である LASIK を受けた患者様は LASIK を施行したことによりコントラスト感度が低下していることがありますが、LASIK 後に白内障手術を受けられた際に挿入した眼内レンズがコントラスト感度に与える影響についての報告は少なく、今回は LASIK 後に白内障手術を受けられ、明視域を拡大する効果がある眼内レンズである LENTIS comfort を挿入した患者様の視機能について調査します。</p>
調査データ 該当期間	2020年2月1日から2022年1月31日までの情報を調査対象とします。
対象となる患者さま	過去に LASIK を受けたことがあり、上記期間内に白内障手術を当院で受けられ、LENTIS comfort を挿入された方
研究の方法 (使用する試料等)	<p>利用する情報</p> <p>2020年2月1日から2022年1月31日までの電子カルテに記載のある診療記録、眼科検査値(裸眼視力・矯正視力・自覚屈折度数・コントラスト感度・眼軸長・角膜屈折力)を利用します。</p>
試料/情報の 他の研究機関への提供 および提供方法	他の機関への試料・情報の提供はありません。
個人情報の取り扱い	利用する情報から氏名や住所等の患者さまを直接特定できる個人情報は削除致します。また、研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さまを特定できる個人情報は利用しません。
本研究の資金源 (利益相反)	<p>本研究は当院眼科の研究費を用いて行います。</p> <p>本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。</p> <p>研究に関する利益相反は、北里大学利益相反委員会で審査を受け適切に管理されます。</p>
お問い合わせ先	本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申し出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究の対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

ただし、すでにこの研究の結果が論文などで公表されていた場合には提供していただいた試料・情報に基づくデータを結果から取り除くことができない場合がありますが、公表される結果には特定の個人を識別することができる情報は含まれません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先:

所属・職位: 北里大学医学部眼科・准教授

担当者:(フリガナ) 飯田 嘉彦(イイダ ヨシヒコ)

電 話: 042-778-8111

備 考